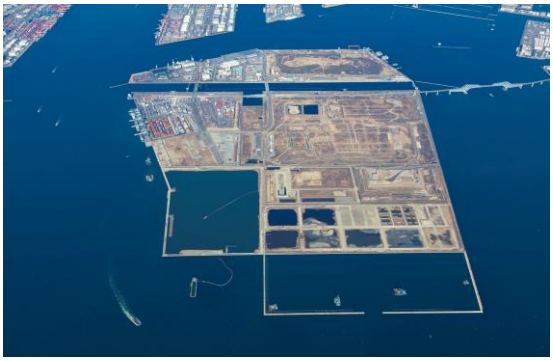
第７３０回建設技術講習会 現場研修事業の概要

１　首都高東品川鮫洲更新工事［首都高速道路㈱］　……　東京都品川区



・高速１号羽田線の東品川・鮫洲区間は、開通から長期間が経過していることから、長期耐久性や維持管理性の向上を図るため、既設構造物を更新している。
・本事業では、天王洲アイル駅付近から鮫洲運転免許試験場付近までの約 1.9km を対象に、高架構造やプレキャストボックス構造などを採用し、耐久性・維持管理性に優れた構造へ造り替えている。
・また、並行する東京モノレールとの離隔確保や橋脚の防食対策、道路幅員の拡大などを行い、安全性・走行性の向上とともに、将来にわたり安定した高速道路機能の確保を図っている。

２　新海面処分場［東京都］　……　東京都江東区



・東京の都市機能を維持していくためには、廃棄物等を適正に処分する最終処分場の確保が必要であることから、東京港内最後の廃棄物処分場として新海面処分場の整備を進めている。
・本事業では、約 480ha の埋立面積を有する処分場を A～G の７ブロックに分けて整備するとともに、外周・中仕切護岸、遮水機能を備えた護岸などを整備し、廃棄物等の適正な埋立処分を行っている。
・また、限られた処分場をできるだけ長く使用するため、海底地盤を掘り下げる深掘や圧密沈下を促進する工事などにより受入容量の増大を図り、処分場の延命化に取り組んでいる。

３　神田川・環状七号線地下調節池［東京都］　……　東京都杉並区



・神田川・環状七号線地下調節池は、水害が多発していた神田川中流域の治水安全度を早期に向上させるため、環状七号線の地下約 40m に整備された、延長 4.5km、内径 12.5m の地下トンネル式の調節池である。
・本施設は、神田川、善福寺川及び妙正寺川の３河川から洪水を取り込み、約 54 万㎥を貯留することができる。
・全体の完成までに期間を要することから、事業効果を段階的に発揮させるため、第一期・第二期に分けて整備を進め、施設の完成に合わせて各河川から順次、洪水の取水を開始した。
・平成 20 年３月に第二期事業が完成し、３河川から洪水を取り込む現在の施設となった。その後も洪水を繰り返し貯留し、下流域の浸水被害の軽減に効果を発揮するなど、神田川中流域の治水安全度の向上に寄与している。